2026-06 号　岡山赤十字病院治験審査委員会　会議の記録の概要

開催日時 開催場所	令和 8 年 6 月 16 日（火）16：15 ～17：00 岡山赤十字病院　本館 第一会議室
出席委員名	別所 昭宏、森 英樹、吉富 誠二、福家 聡一郎、牧原 百合子、林 敦志、大道 淳二、 小幡 賢吾、梅原 良介、中村 恵理、山根 務、西谷 工平、肥塚 尚美
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	※別所委員長が審議及び採決に参加できない議題 2、3 については、森副委員長が委員長代行をすることとした。 【審議事項】 議題（1） 予後不良因子を複数有する抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎患者を対象とした新規 BRT 療法（高用量ステロイド+バリシチニブ+リツキシマブ+タクロリムス）の有効性及び安全性を標準療法と比較する多施設共同医師主導治験（長野赤十字病院分） 委員長より、本委員会が一括審査を受託している「長野赤十字病院」における上記治験について審議を行う旨が説明された。 治験責任医師より、長野赤十字病院における本試験および治験薬の概要等説明。質問事項に対する回答及びこれまで得られている臨床試験成績に基づき、当該施設における治験実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題（2） ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による KRAS G12C 変異を有する進行非小細胞肺癌患者を対象とした Adagrasib の第 3 相試験 新たに得られた安全性情報等に関する報告書に関し、提出された資料に基づき、治験継続実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題（3） デュルバルマブの臨床試験（親試験）完了後、治験責任（分担）医師から治験継続により臨床的ベネフィットが得られると判断された患者を対象としたロールオーバー試験 治験実施状況報告書に関し、提出された資料に基づき、治験継続実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題（4） 経口抗凝固剤に不適と考えられる心房細動を有するハイリスク患者を対象に、abelacimab の

	有効性及び安全性を評価する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間、第Ⅲ相試験（LILAC） 重篤な有害事象に関する報告書に関し、提出された資料に基づき、治験継続実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題（５） ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による第Ⅲ相試験を完了した PMR 患者を対象とした AIN457 の第Ⅲ相継続投与試験 新たに得られた安全性情報等に関する報告書、治験実施状況報告書に関し、提出された資料に基づき、治験継続実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認 議題（６） 予後不良因子を複数有する抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎患者を対象とした新規 BRT 療法（高用量ステロイド+バリシチニブ+リツキシマブ+タクロリムス）の有効性及び安全性を標準療法と比較する多施設共同医師主導治験 新たに得られた安全性情報等に関する報告書に関し、提出された資料に基づき、治験継続実施の妥当性について審議した。 治験分担医師リストの追加・削除、治験実施計画書、治験薬概要書、同意説明文書の改訂に関し、提出された資料に基づき、治験継続実施の妥当性について審議した。 審議結果：承認
特記事項	次回開催予定日：令和 8 年 7 月 21 日（火）